

新潟県シンボル 普及促進アンバサダー

講演会や学校での
総合学習等に
ご活用ください！



新潟県ではチューリップ、トキ、雪椿、雪割草、錦鯉、ヒスイを新潟県を象徴する6つのシンボルとして定めています。これらはすべて新潟県の自然や風土に深く関わり、県民のみなさんが愛着や誇りを持ちながら、大切にしてきたものです。

それぞれのシンボルの歴史や魅力などについて、アンバサダーが出向いて解説を行います。

〔アンバサダープロフィール〕 ※敬称略

県の花 チューリップ



(撮影：中村 脩)

倉重 祐二

新潟県立植物園
顧問



- ・神奈川県出身。新潟県立植物園長を経て、現在は同園顧問。(公社)日本植物園協会専務理事も務める。
- ・専門はツツジ、シャクナゲなどで、新潟県の園芸史やチューリップ栽培の歴史に精通しており、講演や記事の執筆などを通じて、植物の魅力を広く伝えている。

県の鳥 トキ



(提供：環境省)

仲川 純子

NPO法人
トキどき応援団 理事長



- ・山形県出身。結婚後に佐渡に移り住み、トキの森公園での勤務をきっかけに、トキの保護活動に関わる。
- ・餌場のビオトープ作業を行いながら、たくさんの人にトキの生態や歴史を伝えるとともに、トキを含めた様々な生きものがいる環境を次の世代につなげるため活動している。

県の木 雪椿



(撮影：中村 脩)

江花 一実

新潟県自然環境保護員



- ・阿賀町出身。大学卒業後、阿賀町にUターンし、民間企業から行政職(旧鹿瀬町)に転身して雪椿に出会う。
- ・雪椿をはじめとする地域の資源・歴史を活かした町おこしや教育活動をライフワークとし、自然環境保護員など幅広く活動しながら、自然の楽しさやマタギの技など、ふるさとの魅力をこどもたちに伝えている。

県の草花 雪割草



(撮影：中村 脩)

井上 太平

新潟県雪割草連合会
会長



- ・十日町市出身。地元で自生する雪割草に魅せられ、友人らとともに雪割草の実生栽培に取り組む。
- ・「県庁の森」での植栽会などを通じ、雪割草の魅力を多くの人に伝えているほか、自生地の保護活動にも力を入れており、盗掘防止のためのパトロールなどに取り組んでいる。

県の鑑賞魚 錦鯉



(撮影：新潟県)

間野 泉一

(一社)全日本錦鯉振興会
顧問



- ・小千谷市出身。同市内にある和泉屋養鯉場の取締役を務める。全国錦鯉品評会での総合優勝や農林大臣賞の受賞など、数々の実績を誇る。
- ・昔から伝わる自然な飼育法を実践し、丈夫で健康な鯉をつくることに情熱を注ぎながら、後進の育成・指導にも尽力し、多くの生産者に慕われている。

県の石 ヒスイ



(提供：糸魚川市)

石橋 隆

(一社)地球科学教育機構
理事長



- ・長野県出身。京都府の益富地学会館(石ふしぎ博物館)の理事や大阪大学総合学術博物館の研究員などを経て現職。
- ・地質や鉱物の研究に加え、博物館や研究者への支援を行っているほか、地球科学の普及のために全国各地で講演活動を行っている。

お気軽にお申込みください。詳細は裏面へ ▶▶▶

新潟県シンボル普及促進アンバサダーを招へいするには

集会等の規模

概ね20名以上の集会等に伺います。
 ※集会等の開催・運営は申込者でお願いします。
 ※県の信用・品位を害したり、営利活動、特定の政治・宗教の活動を助長するおそれがある集会等は対象となりません。

希望日時

アンバサダーとの日程調整により決定いたします。
 1回の実施時間は概ね1～2時間程度です。
 集会等開催日の1か月前から2か月前までに申し込んでください。

内容

団体主催のシンボルをテーマにした講演会やセミナーの講師
 小中学校での総合学習等、出前講座の講師 等

費用

アンバサダーの活動の謝礼金は県が負担しますが、現地までの交通費等の経費については申込者でご負担いただきます。

申込方法

集会等開催日の1か月前から2か月前までに、下記項目をご記入の上、FAXまたは郵送によりお申込みいただくか、QRコードを読み取り、申請フォームからお申込みください。

申請フォーム



新潟県シンボル普及促進アンバサダー招へい申請

希望のシンボル (○をつけてください)		チューリップ・トキ・雪椿・雪割草・錦鯉・ヒスイ		
希望理由・内容				
希望の日程			参加予定数	
開催予定会場(住所)				
申込者	団体等の名称			
	住所	〒		
	担当者氏名			
	電話番号		FAX番号	
	メールアドレス			

申込み・問い合わせ先

新潟県知事政策局広報広聴課企画調整係
 〒950-8570 新潟県新潟市中央区新光町4-1
 電話:025-280-5013 FAX:025-283-2274